海田東小だより

Web ページ　http://www.kaitahigashi-e.ed.jp/

令和５年度　３月号
海田町立海田東小学校

学校教育目標　「考え実践する　海田東っ子」
笑顔・あいさつ・思いやり（EAO）　よく学び　よく遊び　やさしく強く

早春の時季を迎えましたが皆様お元気でしょうか。毎日グラウンドで元気よく遊ぶ東っ子ですが，２月はインフルエンザ感染症の猛威に見舞われ，学年閉鎖と学級閉鎖もあり，大変ご心配をおかけいたしました。ようやく感染者も減り始めたところです。これから今年度もラストスパートに入ります。充実した終わり方ができるように，ご協力お願いいたします。

最終募金総額

170，268円

能登半島地震の被災者のために，児童委員会が呼びかけた募金の総額です。中国新聞の方に「役立ててください」といって手渡しました。

ご協力ありがとうございました。

自分の記録に勝つ！　校内持久走記録会

２月７日（水）の持久走大会は，今年も１～３年と４～６年に分かれての開催でしたが，瀬野川河川敷を走ることができました。持久走大会に向けて，学年ごとにテーマや目標を決めて練習に励み，大勢の方の応援の中，自分の力を発揮して走ることができました。たくさんの応援ありがとうございました。大会というと順位に目が行きがちですが，当日に向けて一生懸命練習に励んだ結果です。日々記録が伸びるのを喜ぶ姿や，昨年の記録と比べて成長を実感している姿もありました。持久走で身に付けたのは走る力だけではありません。これからも様々な場面で力を発揮していってくれるのが楽しみです。

さすがは６年生　踊りも演奏も〇〇も　　卒業を祝う会　２月22日

どの学年も６年生への感謝の気持ちを込めて出し物をしたので，大きな拍手をもらうことができました。今年は体育館で直接他の学年の発表を見ることができたので，大盛り上がり。「マツケンサンバを踊っているときの６年生の表情がとてもキラキラしていました」という声も聞きました。プログラムにない先生たちの出し物も，喜んでもらえたと思っています。

3月の行事予定

1	金	スクールカウンセリング　ALT 新１年生物品受け取り（15:40～16:40）
2	土	
3	日	海田中学校卒業証書授与式
4	月	クラブ
5	火	海田みどり幼稚園来校 音楽クラブ発表会（大休憩　体育館）
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	大掃除週間
11	月	
12	火	2年学校訪問お話会3時間目
13	水	ワックスがけ
14	木	1年学校訪問お話会3時間目
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	電気点検
19	火	卒業証書授与式　給食なし
20	水	春分の日
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	修了式･離退任式　給食あり
26	火	登校日（2年2組　3年全　4年2組）
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

今後の予定

☆卒業証書授与式　３月１９日（火）
５・６年のみ参加
（8:15～8:30 の間に登校）
９：３０～１０：４０
見送り　　１１：３０予定
（１～４年生お休み。午前中は，学校に遊びに来ません。）

☆修了式・離退任式
３月２５日（月）

☆始業式・就任式
４月８日（月）
給食なし １１：４０下校

☆入学式　４月９日（火）
給食なし ２～５年
１１：４０下校
６年参加　　お弁当持参
受付　１３：１０～１３：３０
式指導 １３：３０～１３：５０
開始　１４：００～

※　変更になる場合があります。HP をご確認ください。

☆４月
１０日（水）給食開始（２～６年）
１２日（金）給食開始（１年）
１８日（木）R6全国学力・学習状況調査
１９日（金）参観・懇談
２２日（月）全国学力児童意識調査
オンライン調査
２３日（火）交通安全教室（１年）
３０日（火）自転車教室（４年）

☆５月
２日（木）遠足（弁当）
２５日（土）運動会
２６日（日）運動会予備日
２７日（月）２５日の振替休日
２８日（火）給食なし（お弁当）

４～５月に家庭訪問を予定しています。
予定は変更になる場合があります。

輝かしい成果

第４回織田幹雄書道展入賞者

【織田幹雄賞】　５年

【ジャンプ金賞】６年
６年
５年
３年
３年

【ステップ銀賞】６年
５年
５年
４年
３年
３年
３年

【ホップ銅賞】　３年

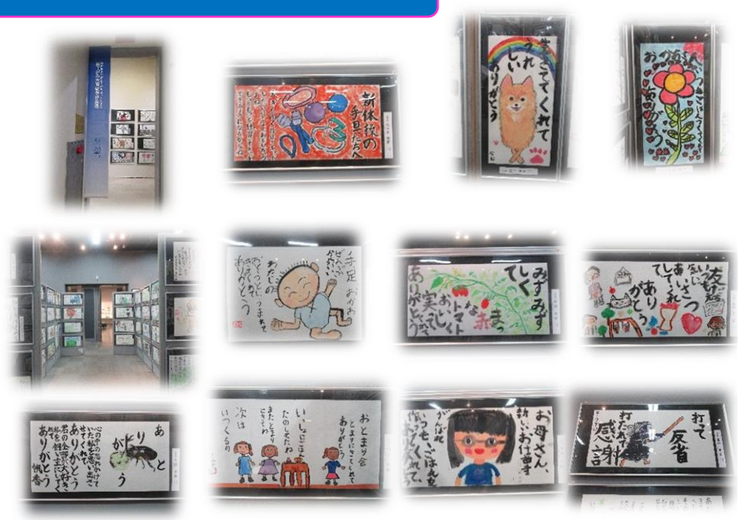
令和６年度「子ども司書」認証式～２月１７日　県民文化センター～

今年度子ども司書として活動した６年生の　　さんが，広島県の平川教育長から認証書を授与されました。認証式の間「自分のおすすめの本の POP」がスクリーンに投影されました。おすすめは「りんごかもしれない」です。ぜひ読んでみてください。

当日会場では、ビブリオバトルも行われました。小学校でも取り組んでいるのですが「**人を通して本を知る。本を通して人を知る**」というキャッチコピー通り，読んでみたい本が増えるので、大人にもお勧めです。

第 25 回　筆の里ありがとうのちょっと大きな絵手紙大賞

【奨励賞】
６年
５年
５年
３年
３年
３年
３年
３年
２年
２年



令和５年度　海田東小学校　　学校評価自己評価表（最終版）

学校教育目標　　考え実践する　海田東っ子　　笑顔・あいさつ・思いやり（ＥＡＯ）
―「よく学び」「よく遊び」「やさしく強く」―

中期経営目標		短期経営目標	取組・評価項目	評価指標	中間値	最終値	評価	最終の反省	来年度の取組
知	自分の考えを深める子	・確かな学力を身に付けた児童の育成	・「海田町標準学力調査」(CRTの結果)	・「海田町標準学力調査」全国平均正答率との比較（全国平均正答率以上の教科の割合）。		全国平均を上回った学年・教科 全16教科中 12教科	A	○算数科では，宿題等の課題の直しを最後までやり切らせることで，成果が確実に見られるようになった。 ○理科の学習では，理科用語の定着を図るために，タブレットにまとめたスライドを用いて言葉を覚えたり，書いたりする活動が効果的であった。 ●低学年において，聞き取りの問題に課題が見られた。 ●算数科図形領域に課題が見られた。 ●同学年間で指導の統一を図ることが難しい状況が見られた。	○算数科においては，引き続き宿題や課題を最後までやり切ることを徹底していく。また，図形領域の指導においては，タブレットや具体物の操作によって，理解を深める。 ○理科の学習の基礎となる，用語の定着を今後も図る。 ○スピーチの実施や聞き取った内容の確認など，授業時間外での取り組みも充実する。 ○指導方法の共有，統一ができるように，学年会の時間を活用し，必要に応じて，取組状況の確認，修正を行う。
		・授業で深く思考する児童の育成	・知識を活用し，協働して新たな価値を生み出す授業の実施	・児童アンケートにおける，「友達と協力して学び合っている。」，「自分の意見をもち，友達の意見と比べたり，合わせたりして，答えや考えをまとめている。」の児童の割合。	【学び合っている】 肯定 88%　否定12% 【考えをまとめている】 肯定 80%　否定 20%	【学び合っている】 肯定 90%　否定10% 【考えをまとめている】 肯定 82%　否定 18%	A	○友達と学び合っていると感じる児童が90%と多く，日々の授業において，主体的で協働的な学習活動が展開されていたと言える。一方で，10%の児童が学び合いを実感できていないことから，活動の形態の工夫も必要である。 ○友達の意見と比較・関整しながら学習を進めている児童が82%と多い。これは授業中の発問の工夫によって，児童の思考が促され，より深く豊かな学習が行われていると言える。一方で，18%の児童に対する思考の手立てが必要である。	○協働的な学習について理論研修等を実施し，理解を深める。 ○主体的で協働的な学びについて具体的な取組について実践交流を行う。 ○児童の思考を促す発問の在り方についての理解を深める。 ○思考が促された場面について実践交流を行う。
徳	自分や友だちのよさを認める子　思いやりを持ち	・児童の自己肯定感をより高める	・行事等における「よいとこ見つけ」の取組 ・児童の自己肯定感を高める日常の取組	・児童アンケートにおける，「自分には良いところがある」と考えている児童の割合。	肯定 82% 否定 18%	肯定 84% 否定 16%	A	○「良いとこみつけ」の取組において，お昼の放送で様々な児童を褒めたことは，紹介された児童は自己肯定感が高まり，聞いている児童は温かい気持ちになった。また，日常の生活においても，各学級の帰りの会等で，友達の良いところを見つけて発表しあうコーナーを展開しており，たくさんの児童に笑顔があふれていた。今後も継続して進めていきたい。	・本年度は，昨年度より回数を減らし，行事終了ごとに「良いとこみつけ」の取組を行った。おかげで，子どもたちもお世話になった高学年やクラスメートへの感謝の気持ちを書きやすく，心がこもった文章が多かった。来年度も，行事終了ごととする。 ・掃りの会において，友達の良いところを発表する取組をすべての学級で行っており，自己肯定感を高めるとともに学級の集団作りにも役立っている。来年度も全校取組をしていきたい。
		・時と場に応じた挨拶ができる児童の育成	・あいさつ運動の実施	・児童および教職員アンケートにおける，「あいさつや会釈をしている」児童の割合。	【児童】 肯定 88%　否定 12% 【教職員】 肯定 83%　否定 17% 【地域】肯定 50% 【保護者】肯定 71%	【児童】 肯定 87%　否定 13% 【教職員】 肯定 66%　否定 34% 【地域】肯定 71% 【保護者】肯定 73%	B	○「あいさつの花運動」の取組により，地域の挨拶ボランティアさんや保護者に向けての挨拶が増えたようである。朝の挨拶運動（正門，南門）においても，笑顔で挨拶をする児童が増えた。 ●「あいさつの花運動」に取り組んでいる期間が終了すると挨拶が少なくなった。また，教員が挨拶をするとほぼ全児童が挨拶を返すが，自ら挨拶をする児童は少ない。まずは，教員から声をかけていき，子どもたちの心を和らげてほしい。	・教員から挨拶の声をかけられて，子どもたちに笑顔が増えてきた。1年間継続して教員自ら率先垂範し，子どもたちの心を耕していく。全教職員による組織的な取組が効果を上げる。 ・「あいさつの花運動」取組を拡大し，現在，掲示してある職員玄関から職員室，校長室にかけての「あいさつの花ロード」を拡大していきたい。
		・場を美しく整えようとする児童の育成	・黙働流汗清掃の指導の取組	・児童および教職員アンケートにおける，「黙働流汗清掃をしている」児童の割合。	【児童】 肯定 88%　否定 12% 【教職員】 肯定 88%　否定 12%	【児童】 肯定 89%　否定 11% 【教職員】 肯定 93%　否定 7%	A	○6年生がリーダーシップを発揮し，下級生に声をかけて，黙働流汗清掃をしている文化が東小に浸透してきている。また，6年生リーダーと担当の先生が掃除分担を工夫し，すべての児童が自らの役割を果たそうとしている。 ●集団になじめない児童も若干名いて，掃除場所には行くが，自分の分担ができていない。粘り強く声かけをしていく必要がある。	・縦割り班による「黙働流汗清掃」は，異学年交流による高学年児童のリーダーシップ育成や集団作りに大変な効果を得ている。縦割り班遠足に始まり，縦割り班清掃は東小の文化として継続していきたい。 ・班には集団になじみにくい児童がいるが，縦割り班の取組により少しずつ集団に慣れてきているので，時間をかけた教育の効果は大きい。
体	進んで健康・安全を考える子	・基本的生活習慣の定着に取り組み，元気に過ごそうとする児童を育成	・基本的な生活習慣徹底のための指導の取組	・生活リズムカレンダーでの「早寝ができた」の割合。	76.2%	69.8%	C	○年3回の計画通り実施でき，長期休業明けに設定することで一定の効果はあった。また，保護者からのコメントが充実した内容のものが増えている。 ○養護教諭による事前指導が充実しており，児童の取組への意欲の向上につながった。 ●作業的になっている児童も少なくはない。児童の自己評価の仕方を工夫する必要がある。	・実施時期や回数は今年度同様に実施したい。その際，養護教諭による事前指導の意図を教員で共有し，担任教員からの児童への声掛けなどの充実を図る。 ・児童の自己評価を色を塗るだけでなく，マスダームやビンゴゲームのようなゲーム性をもたせたものにし，児童の意欲向上に努める。 ・学校評価自己評価の評価指標をより客観的なデータになるように保護者へのアンケートを実施するなどと夫をする。
		・外遊びの指導の取組	・児童および教職員アンケートにおける，「１日に１回は外に遊びに出ている」児童の割合。	【児童】 肯定 69%　否定 31% 【教職員】 肯定 68%　否定 32%	【児童】 肯定 81%　否定 19% 【教職員】 肯定 86%　否定 14%	A	○後半にかけて肯定的評価があがったのは，天候的な問題がクリアできたことと体育科との関連が充実したことが考えられる。 ●評価項目や評価時期の見直しの検討が必要である。 ●外遊びの取組についての教員の意識統一も図る必要がある。	・体育主任による働きかけで，体育館の開放や体育用具の充実など児童が運動しやすい環境が整いつつある。 ・用具の使用方法の研修や使いやすい配置などを考え，体力向上に努める。 ・委員会の活動を充実させ，遊びの工夫を提案しながら体を動かすことが楽しいと実感できる場面を意図的に設定する。
		・人や自分の命を大切にし，安全に生活しようとする児童の育成	・避難訓練・防犯教室・ＳＮＳ教育の取組	・児童および教職員アンケートにおける，「自分の命を守るための安全な行動の仕方が分かっている」児童の割合。	【児童】 肯定 95%　否定 5% 【教職員】 肯定 88%　否定 12%	【児童】 肯定 96%　否定 4% 【教職員】 肯定 83%　否定 17%	A	○担当教員による工夫で，各訓練後にクイズと認定証を位置づけることによって低・中学年を中心に意欲が高まった。 ○1年生は交通安全教室，4年生は自転車教室，5･6年生はスマホ教室など発達段階に応じた教育の実施ができた。 ●各訓練が単発になっており，作業的かつ非日常的なものになっている。日本や世界で起きている災害やつながりのある事件などを教員で共有し，児童に話す時間を設けると，必要感が高まり充実した訓練になると考えている。	・訓練などが単発にならないよう，年間を通してつながりのある時間にしていく。そのために，日本や世界各国で起きたことなどをリアルタイムで教師から話すなどして，訓練の必要感を高めさせる。 ・訓練の時間や方法に変化を入れながら様々な状況でも対応できる児童の育成を図る。
信	信頼される学校	・家庭・地域と連携し，信頼される学校を目指す	・迅速・誠実・丁寧な対応，意図的，計画的な家庭訪問の実施	・保護者アンケートにおける，「学校の取組を信頼できる」と考えている保護者の割合。	【保護者】 肯定 95%　否定 5% 【地域】 肯定 92%　否定 8%	【保護者】 肯定 94%　否定 6% 【地域】 肯定 100%　否定 0%	A	○保護者アンケートの「家庭への丁寧対応」，「家庭との連携」「相談しやすい」の項目の結果どれも90%を超えている。また，「学力をつけている」「考える授業の実施」のどちらの項目も95%であることから，保護者から本校の教育活動に理解を得ていると考えられる。 ○運動会や学習発表会等，保護者，地域の方に参観できるように工夫した結果，教育内容の理解へつながったと考えられる。 ●保護者の方の意見の中に，日頃の授業や教育活動のようすが伝わりにくいとの意見もあった。 ●教育活動や学級の実態等の説明の場である学級懇談会への保護者の参加率が低い。	・本校教育目標や教育活動について更に理解を得ていくため，情報発信の工夫や保護者，地域の方の参加できる教育活動を実践していく。 ・学級懇談会の保護者の参加率を上げる取組を実施していく。
		・「児童と向き合う時間」を確保	・教職員アンケートで「児童と向き合う時間の確保ができている」の割合。	肯定 68% 否定 32%	肯定 76% 否定 24%	B	○働き方改革の観点から，成績をつける時期に短縮日課にするなど，授業時数を確保しながらも，児童の下校時刻を早め，放課後の業務時間を確保することで，児童と向き合う時間ができた。 ○学年会の時間を明確にすることで，学年の教員が教育内容の連携や児童について話し合う時間を確保することができた。 ●1週間の業務時間が45時間を超える教員が多数いる現状を分析し，さらに業務改善を行う必要がある。 ●教職員アンケート「校内研修が教員のスキルアップにつながっている」の項目で，全教員が肯定的に捉えているが，さらに教員の児童理解，児童対応について研修時間の確保が必要である。	・行事や日常の教育活動の精選を行い，児童へ向き合う時間の確保を行っていく。 ・校務分掌の見直し，役割分担の均等化等，業務改善の取組を行っていく。

ご協力ありがとうございました。来年度に向けて取組をスタートしています。

～心の中にいる鬼を追い出そう～節分

２月２日（金）海田東小学校に複数の鬼が出没したので，自分の中のやっつけたい鬼を書いた紙をぶつけて，退治しました。目に見える鬼はいなくなりましたが，心の中の鬼はどうでしょうか？約 1 ヶ月たって，鬼が戻ってきていませんか？鬼の写真を見て，退治したときのことを思い出してください。

～１５０周年テント　ありがとうございます！

PTA よりテントを２張買っていただきました。簡単に組み立てられ、軽いのでこれからどんどん活用させていただきます。ありがとうございました。